

図書館のオススメ

【児童書】

○きんたろうちゃん

齊藤洋 作

「きんたろうちゃんは、なにをしているのかな?」「おには、きんたろうちゃんたちになんていったのかな?」問いかけがいっぱいで親子でもりあがる!

きんたろうちゃんが家から出て帰ってくるまでを描いた楽しいおはなし。

出版社…講談社

分類…913キ



【一般書】

○あなたならどうする

井上荒野 著

昭和を彩る歌謡曲を題材に生まれた小説たち。「時の過ぎゆくままに」「小指の思い出」など、名曲が鮮やかによみがえる珠玉の短編集。

出版社…文藝春秋

分類…Fイ

○ぼんぼんでつくるどうぶつとモチーフ

伊藤和子 著

たれ耳がかわいいうさぎ、きりっとした目元がかっこいいライオン、ころんとした形のペンギン……。

簡単なものからちょっと難しいものまで、くるくるポンポンメーカーを使ってつくるぼんぼんを紹介します。

出版社…日本文芸社

分類…594イ



○たいふうのひ

武田美穂 作

おじいちゃんのうちに遊びに来てるんだけど、今夜、台風が来るらしい。みんな、忙しそうだったり、ぷりぷりしていたり……。でも、ぼくは台風が見たいんだ!

古河図書館

いきいき! はつらつ! シルバーエイジ

若い人顔負けのパワフルな高齢者を紹介

「クロッケーで健康増進」

森本藤十 さん (東本町・96歳)

最高齢で「第9回ねりんスポーツ古河大会クロッケーの部」にチーム出場し、見事優勝に輝いた森本さん。所属チーム「仁寿会」は、今月開催される第22回茨城県健康福祉祭茨城ねりんスポーツ大会に古河市代表として参加する予定です。

クロッケーは、ゲートボールの原型で体力的なハンディキャップがほとんどないスポーツです。マレット(木槌)で球を打ち、6個のフープ(門)を通し、最後に中央にあるペグ(くい)に当てる早さを競います。

70歳で地域の老人会に加入した森本さんは73歳からクロッケーを始め、平日の午前中に近所の芝生広場で、仲間9人と練習しています。住宅街の中にある癒し空間の広場は、休憩所や手作りの道具置き場が設置され、何回もの補修を重ねて丁寧に管

理されています。「チームのメンバーとは、この広場での練習だけでなく、お茶飲み会や花見、忘年会などたくさんの交流があって楽しい」と言う森本さん。審判員の資格も持つ森本さんにクロッケーの魅力を尋ねると「将棋と同じで先を読んでいく必要がある。頭も使うからいいんだよ」と笑顔で話してくれました。自転車で颯爽と走る姿は年齢を感じさせない、まさに「現役選手」そのものでした。

■一言コメント

クロッケー部の皆さんとプレーし感動を分かち合い、健康に過ごさせています。皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。

